

令和4年度(令和3年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

教育部生涯学習課

教育部長 岩橋 平武

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
31-1	文化振興事業	なし	C	<p>前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を求められる状況下ではあったが、予定した事業が実施できる方法を模索して事業を実施した。結果として、海外アーティストの招へいを伴うファミリープログラム（愛知県芸術劇場との共催事業）は中止せざるを得なかったが、地元出身アーティストによる「巡～MeguRee」コンサートや半田市美術展と共催する形の「アール・ブリュット展」といった市の主催・共催事業の多くは実施することができた。</p> <p>激励金については、目標値に達することはできなかったが、各種全国大会等の開催が困難であった前年度に比べて申出件数は増加した。</p> <p>なお、「半田市文化芸術推進計画」を策定し、今後の本市の文化振興の展望を明確にすることができた。</p>	改善 推進	<p>令和3年度に策定した「半田市文化芸術推進計画」に基づき、音楽を中心とした文化芸術によるまちづくりを進めるとともに、「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術に親しめる機会を充実させていく。</p>
31-2	音楽文化振興事業	あり	B	<p>前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を求められる状況下ではあったが、予定した事業が実施できる方法を模索して事業を実施した。事業実施直前に緊急事態宣言が発令され、市民の安心・安全を優先した結果、大規模コンサート（ガラコンサート）はやむなく中止としたが、ビギクラはんだ等の人気講座や教育的効果が高い小中学校、幼稚園・保育園・こども園でのアウトリーチ、ワークショップは実施することができた。なお、中止とした大規模コンサートについては、予定していた演奏曲等を動画撮影し、多くの方が見られるよう、ホームページで配信するなどの対応をし、音楽文化の普及促進をすることができた。</p> <p>音楽文化振興事業の認知度や満足度の向上のため、普段コンサートや演奏会への参加をためらう乳幼児を持つ親子が参加しやすい内容の「畳でコンサート」や「小さなコンサート」などの事業を実施することで、目標を達成することができた。</p>	改善 推進	<p>令和3年度に策定した「半田市文化芸術推進計画」に基づき、「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術に親しめる機会を充実させていくと同時に、音楽を中心としたまちづくりを進める。</p>

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
31-3	生涯学習推進事業	なし	C	<p>ゲストティーチャーが中心となって企画・運営する「まなびとゼミ」は新型コロナウイルス感染症対策を施して講座開設にいたり、前年度に比べて開設件数は増加したが、目標値は達成できなかった。</p> <p>また、ゲストティーチャー登録件数は前年度に比べ減少し、同じく目標値の達成にはいたらなかったが、新規登録者が7件あり、うち3件は「まなびとゼミ」の講座開設に結び付けることができた。</p> <p>なお、ゲストティーチャーの活躍の場として既存の「まなびとゼミ」にとどまらず、美術展での体験講座や文化振興事業での活用を積極的に図ることができた。</p>	改善 推進	<p>ゲストティーチャーの登録件数の減少に歯止めをかけ、登録制度の趣旨に合った事業展開をしていくため、ゲストティーチャーの活躍の場を充足すると同時に、在宅でも受講可能なオンライン講座の開設や講座開設の支援などを図っていく。</p> <p>また、各種生涯学習講座の開設にあたっては、社会情勢や市民ニーズにマッチしたテーマの選定や、講座への受講価値を高める工夫を検討する。</p>
31-4	公民館管理運営事業	なし	C	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で開館時間の短縮など、施設の利用制限を行っていたこともあり、公民館稼働率は目標値に至らず、また前々年度の水準にも満たなかったものの、前年度に比べて大きく向上した。</p> <p>ふれあい事業に関しても新型コロナウイルス感染症予防の観点から募集定員を制限したり、例年並みの事業規模を維持できなかったりしたことから、目標値を大きく下回った。その中でも子どもから大人まで参加できるスポーツ系のイベントを開催するなど、開催内容には工夫を図り、若い世代の利用増加に向けては取り組んだ。</p>	改善 推進	<p>地域住民が気軽に足を運べる公民館づくりを念頭に、各公民館ごとに地域の特色を生かした幅広い年齢層向けの事業を開催する。</p>
31-5	岩滑公民館改築等事業	あり	B	<p>岩滑区の代表者、岩滑公民館の職員、利用者の意見を反映させた実施設計をもとに、予定通りに旧公民館の解体工事を行うとともに、新公民館の建設工事を進めた。新公民館の管理運営等について、地域住民と意見交換を年4回行った。</p>	改善 推進	<p>令和4年度に新公民館が完成するため、今後の管理運営方法等について地域住民と合意を図った上で、新公民館を滞りなく開館させる。</p>
31-6	福祉文化会館管理運営事業	なし	C	<p>全国的に新型コロナウイルス感染症拡大があったが、施設管理者だけでなく、利用者にも感染予防対策に協力してもらい安全に施設を利用することができた。</p> <p>また、空調機・照明灯などの設備を修繕することで、より快適な利用環境に整備することができた。</p>	改善 推進	<p>半田市福祉文化会館は築30年以上経過しており、老朽化により大規模な改修を必要としている。令和2年度に策定した「半田市福祉文化会館長寿命化計画」に基づき予防保全による施設改修を行い施設の長寿命化を図る。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の前と比較すると、利用者数が減少している。計画的な利用環境の整備をすることにより利用者数の増加に努める。</p>

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
課等長	1次評価（令和3年度の総括評価）					
	C	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間の短縮等、所管する施設の利用制限を行うこともあったが、感染症対策を十分とった上で、利用者にとって安心・安全に利用できる施設運営を図ることができた。</p> <p>また、各種事業や講座等の開催に関しては、緊急事態宣言の発令等により規模の大きなコンサート等やむを得ず中止したものがあつたが、コロナ禍でも開催できる形態を模索し、各種事業や講座を展開できた。</p> <p>成果指標として掲げた目標値に達することができなかった市民企画講座数やゲストティーチャーの登録件数については、引き続き市民ニーズの的確な捕捉や事業に携わる方々の活躍できる環境の整備、制度の魅力の発信に取り組んでいきたい。</p>				
部等長	2次評価（令和3年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）					
	C	<p>前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の対策が求められる中、利用者・参加者の安心・安全を第一に考えた上で、所管する施設の適切な管理運営、予定していた各種事業や講座の実施に結び付けることができた。</p> <p>令和3年度は「アート（文化芸術）の力で“プラスワン”あふれる市民生活の醸成を」という目標を掲げ、本市として初めて「半田市文化芸術推進計画」を策定し、今後の文化芸術振興・推進の方向性を明確に打ち出したため、今後はこの計画に基づいた施策展開を図っていくこととしたい。</p> <p>所管施設の管理運営に関しては、半田市福祉文化会館（雁宿ホール）や空の科学館を中心に将来にわたっての活用ビジョンを整理し、施設の長寿命化等、老朽化対策に適切に対応していきたい。地区公民館については、令和4年度の新岩滑公民館の整備完了に続けて、成岩公民館の改築に取り組み、1小学校区1生涯学習施設の整備を滞りなく進めていく。</p>				